

# 第 4 章

## 基本計画

## 第4章 基本計画

### I 施策の体系

基本目標	施策分野	具体的施策	頁
1 地域生活支援体制の充実	(1) 高齢者在宅自立生活の支援	①高齢者安心カード登録事業	18
		②避難行動要支援者登録事業	19
		③配食サービス事業	19
		④緊急連絡通報システム設置事業	20
		⑤住宅改修費助成事業	20
		⑥シルバーハウジング生活支援事業	21
		⑦養護老人ホーム短期入所措置事業	21
		⑧安否確認事業（乳酸菌飲料の配布）	22
		⑨地域見守り推進事業	22
		⑩軽度生活援助事業	23
		⑪家具転倒防止器具取付事業	23
	(2) 認知症高齢者対策の推進	①認知症高齢者支援事業	24
		②徘徊高齢者家族支援事業	25
		③徘徊高齢者捜索模擬訓練事業	25
		④成年後見制度利用促進事業	26
		⑤日常生活自立支援事業	26
	(3) 高齢者虐待防止対策の推進	①虐待防止	27
		②施設措置	28

		①要介護者介護手当支給事業	29	
		②家庭介護用品支給事業	29	
	(4) 高齢者在宅介護の支援	③寝具のクリーニング事業	30	
		④訪問理髪サービス援助事業	30	
		⑤リフト付きタクシー料金の助成	31	
		⑥介護者の会	31	
2 社会参加と生きがい活動の推進	(1) 老人クラブの育成	老人クラブへの支援	32	
	(2) 老人憩の家の運営	老人憩の家の整備	34	
	(3) シルバー人材センターの育成	東浦町シルバー人材センターへの支援	35	
	(4) 生きがい活動の推進	①生きがい活動通所支援事業		36
		②敬老事業		36
		③ふれあいサロン		37
		④高齢者プール等施設利用料金の助成		38
⑤ひとり暮らし高齢者ふれあい交流事業(あい・カフェ)			39	
3 介護保険事業の充実	(1) 介護保険サービスの推進	介護保険サービス事業	40	
	(2) 地域支援事業の推進	①介護予防事業	44	
		②包括的支援事業	51	

## Ⅱ 施策と目標

### 1 地域生活支援体制の充実

高齢者やその家族が地域で安心して暮らしていくためには、在宅での自立した生活の支援や介護者の家族への支援などの福祉サービスを提供し、医療・介護・福祉の関係者の連携による地域ケア体制の充実を図ることが必要です。また、虐待防止対策や認知症対策への取組の必要性も高まっていることから、以下の4つの事業を柱として計画を進めます。

#### (1) 高齢者在宅自立生活の支援

ひとり暮らし高齢者や在宅で援助を必要とする高齢者等に対し、見守りや家族による介護を支援する体制及び介護保険事業を補完するサービスの充実に努めます。

また、地域全体で高齢者を支えるネットワークを強化し、地域ケア体制を充実します。

#### ① 高齢者あんしんカード（ひとり暮らし高齢者）登録事業

##### ▼目的

ひとり暮らし高齢者及びこれに準ずる状態の高齢者の情報や緊急連絡先をあらかじめ台帳として登録しておくことにより、緊急時の迅速な対応が可能となる体制を確保します。

##### ▼目標

民生委員や高齢者相談支援センター等との連携を密にするとともに、事業の周知に努めることにより、対象者を見逃さない体制の構築を進めます。

登録条件の見直しを行い、ひとり暮らしに限らず真に支援が必要な高齢者の登録を行います。

##### ▼実施状況

- ・H24、25 登録者・対象者一斉調査（1月～3月）の実施
- ・H24、25 窓口や広報（7月15日号）、チラシの配布等による周知
- ・H24、25 民生委員、各地区防災会、半田消防東浦支署へ情報の提供、共有
- ・H24、25 登録条件の見直しについては引き続き検討

### ▼実績

区 分	23 年度			24 年度			25 年度		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
合計(人)	148	490	638	157	512	669	167	514	681

## ②避難行動要支援者登録事業（災害時要援護者登録事業）

### ▼目的

災害時において、一連の行動に対してハンデを負うひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者、難病の方等を避難行動要支援者として登録することにより、関係者間で情報を共有し、地震や風水害等の災害時に迅速な避難誘導や安否確認ができる体制を確保します。

### ▼目標

障がい者団体やその他の関係団体との協力を図り、台帳への登録が必要な方への呼びかけやPRに努めます。

自主防災会、民生委員等との協力を図り、台帳の有効的な活用を進めます。

東浦町地域防災計画において、避難行動要支援者を対象とした福祉避難所の設備強化や新たな福祉避難所の整備、福祉避難所への移動手段を検討します。

また、災害時に避難施設として使用できる民間社会福祉施設の拡大に努めます。

### ▼実施状況

- ・H24 民間社会福祉施設との間に、福祉避難施設の協定を締結（1施設）
- ・H25 民間社会福祉施設との間に、福祉避難施設の協定を締結（6施設）

## ③ 配食サービス事業

### ▼目的

見守りが必要な在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、食事を自宅等へ配達することにより、健康的な食生活の確保及び安否の確認を図り、ひとり暮らし高齢者等が安心できる生活を確保します。

### ▼目標

配達時に不在であった利用者の安否確認のための方法を整備するとともに、家族等の協力者との見守り体制を整備します。

認知症や身体が不自由なため、配達時の対応が困難な利用者に対する対応方法を検討し、支援の充実を図ります。

### ▼実施状況

不在高齢者の安否確認をスムーズに行うため関係機関との連携を強化

▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
実利用者数（人）	111	102	87
延配食数（食）	18,398	17,122	15,674

④ 緊急連絡通報システム設置事業

▼目的

ひとり暮らし高齢者等に対し緊急連絡通報システムを貸与することにより、高齢者が地域の中で安心して暮らせるよう、緊急時の通報体制の確保を図ります。

▼目標

N T T回線以外を利用している高齢者に対するの対応を検討します。  
毎年、緊急通報先を確認し、常に最新の情報の管理に努めます。  
ひとり暮らし高齢者に限らず、緊急連絡通報システムが必要な要配慮者に対して、事業対象者として登録できる制度を整備します。

▼実施状況

- ・H24 要配慮者を対象に加える要綱改正を実施
- ・H24、25 通報装置の機能や利用方法の説明

▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
実設置者数（人）	332	337	329

⑤ 住宅改修費助成事業

▼目的

介護保険に基づく住宅改修費の支給のみでは賅えない住宅改修費を補助し、要介護者の在宅生活の継続を支援するとともに経済的負担を軽減します。

▼目標

改修による自立支援効果の調査のほか、必要に応じて理学療法士からのアドバイスを参考に、要介護者の希望を反映した改修の実施を指導します。

▼実施状況

- ・H24、25 事務の流れを明確にするためのフローチャートを作成・更新
- ・H24、25 ケアマネジャー及び工事業者への説明時にフローチャートを配布

**▼実績**

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間実利用者数（人）	22	38	110
年間給付金額（千円）	4,387	8,170	25,031

**⑥ シルバーハウジング生活支援事業****▼目的**

県が設置するシルバーハウジング（高齢者世話付住宅）に居住する高齢者世帯に対し、生活援助員（LSA）を派遣して安否の確認や緊急時の対応等のサービスを提供することにより、当該入居者の在宅生活を支援します。

**▼目標**

町内に在住する援助が必要な入居希望者が優先的に入所できるよう県に働きかけていきます。

生活援助員が緊急時に円滑に関係機関に連絡し、対応できる体制の整備を進めます。

土日祭日、夜間の生活援助員が不在の際の緊急時対応方法の確立を図ります。

**▼実施状況**

- ・H24、25 高齢者世帯に対する LSA（生活援助員）による緊急時の対応、安否確認、生活相談等を実施
- ・H24、25 町内在住の入居希望者に対する、優先的な入居について県へ要望

**⑦ 養護老人ホーム短期入所措置事業****▼目的**

介護保険サービスが利用できない要援護高齢者を一時的に養護老人ホームに短期入所させることにより、要援護高齢者の生活の安全と介護する家族の負担軽減を図ります。

**▼目標**

高齢者虐待等により、家族との分離が必要な高齢者に対する一時的な避難場所として養護老人ホームが利用できる制度の整備を図ります。

**▼実施状況**

高齢者虐待により保護が必要なケースは増加しているが、介護保険を利用して施設入所し分離する方が増加

**▼実績**

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間実利用者数（人）	3	0	0
年間利用延日数（日）	43	0	0

## ⑧ 安否確認事業（乳酸菌飲料の配布）

### ▼目的

75 歳以上で配食サービス事業を利用していない見守りが必要なひとり暮らし高齢者に乳酸菌飲料を配達し、定期的な安否確認を行います。

### ▼目標

乳酸菌飲料が取り込まれていない場合の関係機関との連絡体制を整備するとともに、1 日おきの配達のため、配達日以外の安否確認の手法を検討します。

75 歳に満たないひとり暮らし高齢者に対する安否確認の方法を検討します。

シルバー人材センターや地域ボランティア等による定期的な安否確認の方法を検討します。

### ▼実施状況

- ・H24、25 高齢者相談支援センター、民生委員と連絡・連携し、乳酸菌飲料が取り込まれていない対象者の安否確認を実施
- ・H24、25 配達日以外の安否確認、75 歳に満たないひとり暮らし高齢者の安否確認手法について引き続き検討

### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
利用者数（人）	212	236	239

## ⑨ 地域見守り推進事業

### ▼目的

民間事業所から「日常業務の中で感じた異変」について連絡、通報が得られる「あんしん見守り隊」によって広範な見守り支援を行います。

### ▼目標

見守り隊である事業所と日頃より連携をとることで、異変があった際に速やかに連絡・協力の取れる体制を整えます。

### ▼実施状況

- ・H24 東浦町地域見守り事業協定書の締結、あんしん見守り隊の発足
- ・H24、25 事業所と連携し、異変があった対象者の安否確認を実施

### ▼実績

区 分	24 年度	25 年度
登録事業所数（カ所）	13	13



## ⑩ 軽度生活援助事業

### ▼目的

介護保険サービスの対象とはならないまでも、日常生活に何らかの援助が必要な高齢者に対し、買い物や掃除等の軽易な生活援助を行うことにより、在宅での自立した日常生活の継続を支援します。

### ▼目標

利用者の拡大のための積極的なPR活動を行います。

掃除や買物援助のほか、利用者の要望に対応したサービスが提供できるよう、委託先のシルバー人材センターとの協議を進め、新たなサービスの提供に努めます。

### ▼実施状況

- ・H24、25 高齢者相談支援センター、民生委員及びシルバー人材センターを通じて制度の周知を実施

### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間利用者数（人）	4	5	5

## ⑪ 家具転倒防止器具取付事業

### ▼目的

ひとり暮らし高齢者宅の家具を固定することにより、災害時における家具の転倒による事故の防止を図ります。

### ▼目標

高齢者の住宅事情等により、現状のサービス量では不十分な場合があることから、家具転倒防止器具の内容や、取付個数の適正化を図ります。また、委託先のシルバー人材センターとの協議を進め、新たなサービスの提供に努めます。

### ▼実施状況

- ・H24、25 高齢者相談支援センター、民生委員及びシルバー人材センターを通じて制度の周知を実施

### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間実利用者数（人）	28	10	14

## (2) 認知症高齢者対策の推進

昨今、認知症高齢者が増加しており、支援の充実が必要となっています。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようなネットワークづくりに取り組み、認知症高齢者やその家族を支援するための地域支援体制を充実します。

### ① 認知症高齢者支援事業

#### ▼目的

認知症の高齢者とその家族が住みなれた町で安心して暮らせるまちづくりのため、認知症サポーター養成講座の開催、NPO との協働による安心して買い物ができるための買い物セーフティネットの推進等の取組や認知症カフェや徘徊による行方不明者を検索するためのメールマガジンの整備を通じ、認知症高齢者の支援のためのネットワークを構築します。

#### ▼目標

商工業事業者や金融機関の従業員など、認知症の方と接する機会の多い方を対象とした認知症サポーター養成講座の積極的な開催を進めます。

認知症サポーター養成講座修了者に対する定期的なフォローアップ研修を開催します。

養成講座受講者を活用し、認知症を支援する組織づくりを進めます。

認知症の人とその家族が集う認知症カフェの開設を進めます。

認知症の方が徘徊により行方不明になった際、広域的かつ迅速に検索ができるようメールマガジンの整備を進めます。

買い物セーフティネット加盟店への登録（認知症高齢者支援マップへの掲載）を推進します。

#### ▼実施状況

- ・H24 イオン東浦の従業員を対象とした認知症サポーター養成講座を開催
- ・H24 あんしん見守り隊事業所（13 事業所）を買い物セーフティネット加盟店に追加
- ・H24 高齢者相談支援センター職員や、町内介護事業所職員を講師に、全5回の認知症サポーターフォローアップ講座を開催
- ・H24 認知症サポーターによる自主活動組織「オレンジパラソル」発足
- ・H25 国立長寿医療研究センターの遠藤内科部長を講師に招き、全5回のフォローアップ講座を開催
- ・H25 オレンジパラソルの支援を継続
- ・H25 金融機関、シルバー人材センター、病院、介護事業所に対し、認知症サポーター養成講座を開催

▼実績

認知症サポーター養成事業の実施状況

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
実施回数	9	9	10
延べ人数	212	169	252

② 徘徊高齢者家族支援事業

▼目的

徘徊の恐れのある高齢者を事前に認知症高齢者登録台帳へ登録しておくことにより、行方不明となった際の迅速な情報の提供を図ります。

また、台帳登録者の家族等に対し位置情報を探索するための専用端末機を貸与し、徘徊等で行方不明の場合に位置情報を提供することにより、早期の保護及び事故防止を図ります。

▼目標

徘徊がある高齢者の家族に対し事業の説明を積極的に行い、全員の徘徊高齢者台帳への登録を推進します。

より精度の高い機器を導入する等、徘徊高齢者の正確な位置情報を提供するための方法を検討します。

▼実施状況

・H24、25 ケアマネジャー等への周知を実施

▼実績

専用端末機利用者数

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間利用者数（人）	6	9	7

③ 徘徊高齢者搜索模擬訓練事業

▼目的

認知症の高齢者が徘徊により行方不明になった場合に備え、地域住民、関係機関、行政が一体となった搜索模擬訓練を実施することにより、認知症による徘徊への共通認識と、地域全体で高齢者を支えるという意識の向上を図ります。

▼目標

隣接する市町や町内全域を対象とする広域的な範囲を想定した模擬訓練の実施を検討するなど、地域力の向上に努めます。また、継続的に模擬訓練を実施します。

搜索時に、徘徊している高齢者に対する的確な声かけができるよう、模擬訓練開催時に講習会を開催します。

### ▼実施状況

- ・H24 平成 25 年 2 月 7 日生路・藤江地区にて訓練を実施
- ・H25 平成 26 年 2 月 18 日緒川地区にて訓練を実施

## ④ 成年後見制度利用促進事業

### ▼目的

認知症等により判断能力が低下した高齢者を身体的虐待や財産侵害等から守るため、成年後見制度の利用を促進します。

### ▼目標

高齢者相談支援センターと連携し、高齢者等に対する制度の周知を行います。

知多地域成年後見センターと協力し、迅速な後見等の決定ができるよう努めます。

### ▼実施状況

高齢者虐待の増加により申立て件数が増加

### ▼実績

町長申立て件数

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
申立件数（件）	3	10	2

## ⑤ 日常生活自立支援事業

### ▼目的

判断能力が不十分な方に対し、愛知県社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業を仲介することにより、自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの援助等を行います。

### ▼目標

金銭管理が困難な高齢者等に対し、事業のPRと利用を積極的に推進し、高齢者等が在宅で安心して生活できる環境を整備します。

### ▼実施状況

- ・H24、25 高齢者相談支援センターとも連携し、高齢者が安心して生活できる環境が整うよう事業のPRを行うとともに、必要と思われる方には積極的に利用を促進

### ▼実績

相談・契約状況

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
相談回数（回）	2	3	0
契約件数（件）	9	9	3

### (3) 高齢者虐待防止対策の推進

平成 18 年 4 月に施行された「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」により、虐待を受けている高齢者に対しての保護措置などの体制整備は進められていますが、町として、高齢者虐待の発生の予防、早期発見、養護者に対する支援を行うため、関係機関等との連携や協力体制の強化に努めるとともに、虐待を受けた高齢者に対する介護施設への保護措置など、迅速に対応できる仕組みの整備に努めます。

#### ① 虐待防止

##### ▼目的

高齢者虐待の発生予防、早期発見、虐待を受けた高齢者や養護者に対し適切な支援を行うためのネットワークの構築等を行い、高齢者虐待への適切な対応と未然防止を図ります。

##### ▼目標

高齢者虐待の発生予防のため、認知症への理解を深めるための啓発事業を実施します。

##### ▼実施状況

H25 民生委員、人権擁護委員、町内の介護保険事業所職員向けに、映像を用いて高齢者虐待対応の研修を実施

##### ▼実績

##### 高齢者虐待防止ネットワーク事業の活動状況

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
ネットワーク運営委員会（回）	1	1	1
支援会議（回）	4	4	4
研修会・講演会（回）	2	2	6
スクリーニング会議（回）	2	2	2
累計把握件数（件）	96	112	123
虐待防止判定事務会議（回）	19	30	25

## ② 施設措置

### ▼目的

虐待を受けた高齢者を施設措置することにより、被虐待者の生命の安全を確保し、虐待者に対する指導、矯正等の支援を進め、虐待の防止を図ります。

### ▼目標

高齢者が虐待を受けた場合に対応するための要綱などの整備を検討し、虐待を受けた高齢者の安全確保の強化を図ります。

### ▼実施状況

介護保険サービスを利用できない方に対応できるよう要綱を改正

### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間実利用人数（人）	2	1	1
年間延利用日数（日）	137	6	61

## (4) 高齢者在宅介護の支援

寝たきりや重度の介護が必要な高齢者が、施設ではなく住みなれた地域で生活していけるよう、要介護者に対する支援とあわせて、介護者の負担の軽減など、介護をする家族に対する支援を充実します。

### ① 要介護者介護手当支給事業

#### ▼目的

介護者に対し要介護者介護手当を支給することにより、介護者の慰労と介護負担の軽減を図り、要介護者の在宅生活の継続を支援します。

#### ▼目標

事業の目的に照らし、在宅で要介護者を介護している家族の状況を考慮し、手当の対象及び内容についての検討を進めます。

#### ▼実施状況

- ・ケアマネジャー等への周知を実施
- ・知多5市5町及び刈谷市に対し、給付額及び対象者の調査を実施

#### ▼実績

区 分	23年度	24年度	25年度
年間実受給者数（人）	330	328	289
年間延受給月数（月）	2,672	2,573	2,429

### ② 家庭介護用品支給事業

#### ▼目的

家庭での介護に必要な介護用品を購入できる引換券を支給することにより、介護者の経済的負担の軽減を図り、要介護者の在宅生活の継続を支援します。

#### ▼目標

ケアマネジャー等との関わりがない介護サービス未利用者に対する制度の周知を進めます。

利用者の要望に対応したサービスが提供できるように品目数の検討を進めます。

#### ▼実施状況

- ・窓口での周知を徹底
- ・知多5市5町及び刈谷市に対し、給付内容及び対象者の調査を実施

#### ▼実績

区 分	23年度	24年度	25年度
年間実受給者数（人）	62	62	57
年間延利用枚数（枚）	976	949	874

### ③ 寝具のクリーニング事業

#### ▼目的

在宅の寝たきりの高齢者やひとり暮らし高齢者等に対し、寝具をクリーニングすることにより、高齢者等が清潔で快適な生活が過ごせるよう支援するとともに、介護者の負担の軽減を図ります。

#### ▼目標

利用者に対するニーズ調査を実施し、サービス内容の検討を進め、適切なサービスの提供を行います。

#### ▼実施状況

- ・ひとり暮らし登録の際に事業のPRを実施
- ・要介護者への周知のため、ケアマネジャーに対し事業のPRを実施

#### ▼実績

延利用状況

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間延利用者数(人)	364	320	345

内訳

年 度	23 年度	24 年度	25 年度
実 人 数 (人)	111	120	100
ひとり暮らし高齢者(人)	72	90	75
要介護度4以上の者(人)	39	30	25

### ④ 訪問理髪サービス援助事業

#### ▼目的

町内理容生活衛生同業組合東浦部加盟店の行う、外出が困難な要介護者への訪問理髪サービスに対し、出張料を補助することにより、要介護高齢者等の保健衛生及び介護者の経済的負担の軽減を図ります。

#### ▼目標

外出しての理髪ができない要介護者に対する利用要望等を調査し、事業の在り方について検討を進めます。

#### ▼実施状況

- ・H24、25 利用者のニーズ把握のため、電話及び申請時の聞き取り調査を実施

#### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間実利用者数(人)	10	5	3
年間延利用回数(回)	38	16	13



## ⑤ リフト付きタクシー料金の助成

### ▼目的

公共交通機関を利用することが困難な在宅の高齢者に対し助成券を交付し、タクシー利用料金の一部を助成することで、世帯の経済的負担の軽減を図り、外出の支援をします。

### ▼目標

利用者の条件を含め、今後の事業の在り方について検討を進め、適切なサービスの提供を図ります。

### ▼実施状況

・H24、25 年 タクシー事業者の情報を掲載したガイドブックを作成し、利用者に配布

### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
年間交付者数（人）	146	130	130
年間延利用枚数（枚）	934	908	844

## ⑥ 介護者の会

### ▼目的

介護者間の交流や情報交換、介護の学習会など、介護に対する情報共有の機会と場所を提供するなど、介護者を支援します。

### ▼目標

当事者組織である「介護者の会」の活動を支援します。

町内在住の介護者家族への「介護者の会」の活動内容の周知や加入の促進を図ります。

### ▼実施状況

・H24、25 年 月 1 回定例会を開催し、介護に対する情報共有の機会と場所の提供に努め、介護者を支援

## 2 社会参加と生きがい活動の推進

高齢者が地域でいきいきと暮らしていくためには、高齢者自身が主体的に社会参加でき、自己実現できる地域社会づくりを推進することが必要であることから、高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることが出来るように、老人クラブやシルバー人材センターの活動を支援します。

また、ふれあいサロン活動等の高齢者の交流活動の支援をします。

### (1) 老人クラブの育成

老人クラブの活動を通じて、地域における仲間づくりや健康・生きがいづくりを支援します。

#### 老人クラブへの支援

##### ▼目的

クラブ活動、生きがい・健康づくりの支援や、活動場所を提供し、高齢者の地域での仲間づくりや健康・生きがいづくりを進めます。

##### ▼目標

60歳以上の高齢者の老人クラブ加入率の増加を図り、魅力的なクラブ活動の在り方や活動方法などを検討します。

##### ▼実施状況

- ・H24、25 老人クラブ連合会、単位老人クラブ及び各クラブ活動に対し、補助金を交付
- ・H24、25 平成26年2月16日号広報に会員募集の記事を掲載

##### ▼実績

老人クラブ会員・各地区会員の推移 (単位：人)

区 分	23 年		24 年		25 年	
単位老人クラブ数	65		65		66	
老人クラブ会員数(人)	3,586		3,494		3,363	
内 訳	人数	クラブ数	人数	クラブ数	人数	クラブ数
森岡	455	8	434	8	429	8
緒川	759	13	724	13	705	13
緒川新田	677	12	653	12	638	12
石浜	565	11	565	11	539	12
生路	525	10	518	10	465	10
藤江	605	11	600	11	587	11

## 老人クラブ活動の推移

(単位：人)

区 分	23 年	24 年	25 年
ゲートボール部	21	21	18
芸能部	416	425	419
囲碁・将棋部	155	152	149
園芸部	221	212	206
グランドゴルフ部	193	193	190
陶芸部	64	66	59
計	1,070	1,069	1,041

## (2) 老人憩の家の運営

高齢者の健康増進やレクリエーションの場、交流の場となる各地区の老人憩の家の整備や憩の家を利用した事業の拡充を図ります。

### 老人憩の家の整備

#### ▼目的

高齢者が身近で気軽に利用できる施設として、町内老人憩の家及び東ヶ丘交流館を整備し、自由に開放することで、閉じこもりがちな高齢者の外出を促し、健康の維持や地域交流の場を提供します。

#### ▼目標

老人憩の家利用者からの意見を積極的に採り入れ、高齢者が使いやすい施設の整備と、老朽化に対応した計画的な改修を進めます。

老人憩の家一般開放事業を進め、高齢者が誰でも気軽に利用できる施設整備、運営を進めます。

老人憩の家の中でも老朽化が目立つ石浜老人憩の家の改築等を検討します。

#### ▼実施状況

平成 24 年度

- ・藤江老人憩の家物置を購入
- ・石浜老人憩の家冷蔵庫を購入
- ・藤江老人憩の家園芸用倉庫の購入
- ・緒川老人憩の家陶芸用コンプレッサーを購入
- ・石浜老人憩の家の 3 部屋に空調機器を設置
- ・石浜老人憩の家和式便器から洋式便器へ変更（1 箇所）
- ・生路老人憩の家園芸用倉庫を購入

平成 25 年度

- ・東ヶ丘交流館駐車場整備
- ・相生老人憩の家冷蔵庫を購入
- ・緒川新田、生路老人憩の家ガス管取替修繕
- ・石浜老人憩の家フェンス修繕

### (3) シルバー人材センターの育成

高齢者の生きがいや社会参加のために、就労の場を提供するシルバー人材センターの活動を支援します。

#### 東浦町シルバー人材センターへの支援

##### ▼目的

就業を通じて、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する 60 歳以上の高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを進めます。

##### ▼目標

健康で働く意欲のある高齢者や団塊の世代の社会参加を促し地域の活性化を図るため、シルバー人材センターが行う会員募集や新たな就業先の開拓のための活動の支援を進めます。

行政からの積極的な業務の発注に努めます。

##### ▼実施状況

- ・H24 ワンコインサービス、御用聞きサービスを開始
- ・H24、25 定期的に広報へ会員募集記事を掲載
- ・H24、25 回覧板へ会員募集記事を掲載（4・7月）
- ・H24、25 チラシのポスティング（5月末）
- ・H24、25 シルバー人材だより（全戸配布）による会員募集（9月）
- ・H24、25 福祉課からの委託により軽度生活援助事業・家具転倒防止器具取付事業を実施

##### ▼実績

区 分		23 年度	24 年度	25 年度
会員数	男性（人）	277	299	300
	女性（人）	164	162	165
	計（人）	441	461	465
入会率（％）		3.1	3.2	3.2
就業件数（件）		3,200	3,415	3,653
就業実人員（人）		435	444	459
就業延人数（人）		62,071	66,629	68,537
配分金（千円）		210,934	217,470	223,593

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
家事支援サービス（件）	182	325	500
ワンコインサービス（件）	0	144	217
御用聞き会員数（人）	0	30	30

## (4) 生きがい活動の推進

高齢者が生きがいを持ち、いつまでも健康に生活していくことができるよう、高齢者同士のふれあいの場の確保など、事業の拡充に努めます。

### ① 生きがい活動通所支援事業

#### ▼目的

要介護状態になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者(元気アップシニア：二次予防事業の対象者)に対し、生きがい活動支援通所事業(通称「ひだまり」)を行うことにより、自立生活の助長及び要介護状態等になることの予防を図り、もって高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

#### ▼目標

要介護状態となることの防止につながるよう、社会福祉協議会等との連携により介護予防プログラムの充実を図ります。

#### ▼実施状況

・H24、25 介護予防リーダーの指導のもと、室内型優遊健康器具を有効的に利用し、要介護状態の予防を推進

#### ▼実績

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
延年間開所日数(日)	244	247	241
延利用者数(人)	2,163	2,599	2,062
実人数(人)	52	52	51

### ② 敬老事業

#### ▼目的

75 歳以上の方の多年にわたる社会貢献に敬意を表し、長寿を祝う敬老事業を実施することにより、高齢者の生きがいへの寄与や地域交流の機会を提供します。

#### ▼目標

各地区に委託して行っている敬老会への出席者が減少していることから、敬老会の在り方を含めた事業実施についての検討を進めます。

### ▼実施状況

- ・H24、25 出席率の調査を実施
- ・H24 知多5市5町及び刈谷市に対し、実施状況調査を実施
- ・H25 最高齢の方への敬老金を廃止
- ・H25 金婚、ダイヤモンド婚表彰事業を廃止
- ・H25 敬老事業委託料を引き下げ

### ▼実績

#### 敬老事業の支援

区 分		23 年	24 年	25 年
敬老会対象者（人）		4,528	4,781	4,918
金婚表彰（組）		53	51	-
ダイヤモンド婚表彰（組）		13	8	-
祝 金 ・ 品	米寿（人）	146	175	175
	白寿（人）	12	15	15
	数え100歳（人）	10	6	6
	最高齢者（歳）	104	105	-

## ③ ふれあいサロン

### ▼目的

地域の住民が気軽に集い、交流できる場所を提供することにより、高齢者等の閉じこもりの防止や健康維持を図ります。

### ▼目標

運営協力者の確保とともに、既存施設を利用したより多くのサロン活動の場所の提供を推進します。

身近な地域における住民同士による支えあいの拠点づくりとして、各地区のコミュニティ推進協議会等との連携を推進します。

### ▼実施状況

- ・社会福祉協議会に登録しているサロンについて、必要に応じた支援を継続的に実施
- ・H25年2月 緒川新田地区に新規サロン1箇所開設
- ・H25年4月 森岡地区に新規サロン1箇所開設

▼実績

区 分	23 年度		24 年度		25 年度	
	延べ 開催数	延べ 参加者数	延べ 開催数	延べ 参加者数	延べ 開催数	延べ 参加者数
① ふれあいサロン東ヶ丘 (東ヶ丘交流館)	161	2,350	168	2,500	159	2,413
② 森岡台ふれあいサロン (森岡台集会場)	46	1,030	49	774	50	853
③ 新田ふれあいサロン (新田老人憩の家)	45	811	44	694	44	643
④ 藤江ふれあいサロン (藤江老人憩の家)	44	846	46	849	48	867
⑤ 平池台ふれあいサロン (平池台集会場)	43	600	46	576	46	562
⑥ 生路ふれあいサロン (生路コミュニティセンター)	22	461	23	553	23	536
⑦ 石浜ふれあいサロン東 (石浜区民館)	44	1,299	43	1,199	41	1,195
⑧ 緒川わいわいサロン (緒川老人憩の家)	45	1,308	40	1,145	42	1,248
⑨ いきいきサロン (石浜県住駐在所跡)	22	221	22	238	23	233
⑩ 楽らくサロン (石浜中自治集会所)	43	929	45	960	43	903
⑪ 米田ふれあいサロン (葵ノ荘集会所)	—	286	25	297	24	276
⑫ 青空サロン (平池台集会場)	—	778	101	962	100	747
⑬ みんなのサロン卯の里 (新田老人憩の家)	—	—	4	118	23	542
⑭ もりおかコミュニティ広場どんぐり (森岡コミュニティセンター)	—	—	—	—	46	966

※青空サロンは小学生向けのサロンです。

④ 高齢者プール等施設利用料金の助成

▼目的

プール等の施設を利用する高齢者に対し、料金の一部を助成することにより高齢者の介護予防及び健康増進を促すとともに、福祉の向上に寄与します。

▼目標

利用者の約半数が「もりの湯」の利用者となっていることから、より介護予防及び健康増進の効果が拡大するよう、今後の事業の在り方について検討します。



▼実施状況

- ・H25 知多5市5町及び刈谷市の状況を調査
- ・H25 利用者の介護状態を調査

▼実績

区 分	23年度	24年度	25年度
東部知多温水プール（人）	3,342	3,238	3,198
プラザ温水プール（人）	2,519	2,778	3,055
プラザトレーニング施設（人）	2,330	2,082	2,528
もりの湯（人）	8,005	9,103	8,717
合 計	16,196	17,201	17,498

⑤ ひとり暮らし高齢者ふれあい交流事業（あい・カフェ）

▼目的

ひとり暮らし高齢者の交流の場として開催し、地域でつながるきっかけやふれあいの場の提供、地域での交流を図ります。

▼目標

対象とならない高齢者世帯などへの対応を検討します。  
 高齢者が参加しやすくなるよう、開催方法の検討をします。

▼実施状況

- ・H24 対象者や開催・実施方法について地域状況を考慮し検討
- ・H24 対象者、協力者へアンケートを実施
- ・H24、25 昼食会については「あい・カフェ（高齢者ふれあい交流事業）」へ変更

▼実績

区 分	23年度		24年度			25年度	
	昼食会	宅配	昼食会	あい・カフェ	宅配	あい・カフェ	宅配
参加者数（人）	539	515	189	216	567	253	572

### 3 介護保険事業の充実

介護保険事業は、高齢者が要支援・要介護状態になっても住みなれた地域で自立した生活を営むために必要な介護保険サービスと、要介護状態等になることを予防し、要介護状態等になっても可能な限り自立した生活を営むことができるよう支援する地域支援事業に大別されます。

介護保険サービスの提供については、知多北部3市（東海市、大府市及び知多市）との共同により知多北部広域連合を組織し、スケールメリットを活かした事業運営を行っています。

また、介護予防事業や包括的支援事業等の地域支援事業については、それぞれの市町において日常生活圏域ごとにその地域性に見合った事業を進めていきます。

#### （1）介護保険サービスの推進

介護保険のサービスは、居宅サービス、介護予防サービス、施設サービス及び居住系サービスの4種類に大別され、本町のサービス事業所の状況は表3-1のとおりです。

今後、第6期知多北部広域連合介護保険事業計画に基づき、町内の介護保険サービス提供体制を整備していきます。

また、本町の日常生活圏域を基にした施設整備の見込みは表3-2のとおりで、知多北部広域連合内の施設整備の見込みは表3-3のとおりです。

#### 介護保険サービス事業

##### ▼達成状況

- ・H24 整備なし
- ・H25 ・メドックガーデンビレッジ緒川（認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、通所介護併設）  
・敬愛苑東浦（特定施設入居者生活介護）

表3-1 東浦町の日常生活圏域別 施設・サービス事業所の現状

区分		北部	南部
施設 サービス	介護老人福祉施設	1 (メドック東浦80)	1 (東和荘80)
	介護老人保健施設	1 (相生100)	
居住系	特定施設入居者生活介護		4 (東和荘40、ベティさんの家70、敬愛苑東浦30、敬愛苑藤江30)
	認知症対応型共同生活介護 (地域密着型)	2 (もくせいの家18、メドックガーデンビレッジ18)	2 (かえで18、さくら18)
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (地域密着型)		1 (つくし29)
居宅系	認知症対応型通所介護 (地域密着型)	2 (「とんと」森岡12、メドックガーデンビレッジ12)	1 (「とんと」古譚24)
	小規模多機能型居宅介護 (地域密着型)	1 (「とんと」沙羅居24)	1 (つばき25)
居宅サービス	居宅介護支援事業所	4 (相生、メドック東浦、星の花、ピースフル)	4 (東和荘、社協、グラシア、なのはな)
	短期入所生活介護	1 (メドック東浦20)	1 (東和荘16)
	短期入所療養介護	1 (相生)	
	通所介護	4 (絆20、こぶし30、メドック東浦45、ゆるり屋20)	4 (東和荘30、社協30、あい愛いくじ25、ベティさんの家29)
	通所リハビリテーション	1 (相生30)	1 (フィロス40)
	訪問介護	2 (相生、絆)	4 (東和荘、社協、あおば、フェリーチェ)
	訪問看護	2 (森岡、和来)	1 (グラシア)
	訪問リハビリテーション		1 (前田クリニック)
	地域包括支援センター	1 (東浦町高齢者相談支援センター)	

※既存施設数等は、平成26年度末の見込みです。( )内数値は定員数

表3-2 東浦町の日常生活圏域別・施設整備の現状と計画

区分		既存施設	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
北部	施設サービス	施設数 (か所)	2		1	
		定員 (人)	180		69	
	介護老人福祉施設	施設数 (か所)	1			
		定員 (人)	80		40	
	介護老人保健施設	施設数 (か所)	1			
		定員 (人)	100			
	介護療養型医療施設	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護	施設数 (か所)			1	
		定員 (人)			29	
	居住系サービス	施設数 (か所)	2		1	
		定員 (人)	36		18	
	認知症対応型 共同生活介護	施設数 (か所)	2		1	
		定員 (人)	36		18	
	特定施設入居者生活介護	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	地域密着型特定施設入居者生活介護	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	居宅系サービス	施設数 (か所)	3		1	
定員 (人)		48		12		
認知症対応型 通所介護	施設数 (か所)	2		1		
	定員 (人)	24		12		
小規模多機能型居宅介護	施設数 (か所)	1				
	定員 (人)	24				
合計	施設数 (か所)	7		3		
	定員 (人)	264		99		
南部	施設サービス	施設数 (か所)	1			
		定員 (人)	80			
	介護老人福祉施設	施設数 (か所)	1			
		定員 (人)	80			
	介護老人保健施設	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	介護療養型医療施設	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護	施設数 (か所)				
		定員 (人)				
	居住系サービス	施設数 (か所)	7			1
		定員 (人)	235			18
	認知症対応型 共同生活介護	施設数 (か所)	2			1
		定員 (人)	36			18
	特定施設入居者生活介護	施設数 (か所)	4			
		定員 (人)	170			
	地域密着型特定施設入居者生活介護	施設数 (か所)	1			
		定員 (人)	29			
	居宅系サービス	施設数 (か所)	2			
定員 (人)		49				
認知症対応型 通所介護	施設数 (か所)	1				
	定員 (人)	24				
小規模多機能型居宅介護	施設数 (か所)	1				
	定員 (人)	25				
合計	施設数 (か所)	10			1	
	定員 (人)	364			18	
合計	施設数 (か所)	17		3	1	
	定員 (人)	628		99	18	

※既存施設数等は、平成26年度末の見込みです。

表3-3 知多北部広域連合(3市1町)の施設整備の現状と計画

区分		既存施設	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設サービス	施設数 (か所)	24		3	2
	定員 (人)	1,951	55	269	58
介護老人福祉施設	施設数 (か所)	11		2	
	定員 (人)	1050		240	
介護老人保健施設	施設数 (か所)	6	1		
	定員 (人)	696	100		
介護療養型医療施設	施設数 (か所)	3	-1		
	定員 (人)	89	-45		
地域密着型介護老人福祉施設 設入所者生活介護	施設数 (か所)	4		1	2
	定員 (人)	116		29	58
居住系サービス	施設数 (か所)	29	5	1	4
	定員 (人)	736	288	18	72
認知症対応型共同生活介護	施設数 (か所)	19	1	1	4
	定員 (人)	288	18	18	72
特定施設入居者生活介護	施設数 (か所)	8	4		
	定員 (人)	399	270		
地域密着型特定施設入居者 生活介護	施設数 (か所)	2			
	定員 (人)	49			
居宅系サービス	施設数 (か所)	15	2	3	
	定員 (人)	267	50	24	
認知症対応型通所介護	施設数 (か所)	9		2	
	定員 (人)	118		24	
小規模多機能型居宅介護	施設数 (か所)	6	2		2
	定員 (人)	149	50		50
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	施設数 (か所)	1		1	
合計	施設数 (か所)	68	7	7	8
	定員 (人)	2,954	393	311	180

※既存施設数等は、平成26年度末の見込みです。

## (2) 地域支援事業の推進

地域支援事業は、介護予防事業、包括的支援事業、任意事業からなり、要支援、要介護状態となることを予防し、要介護状態になった場合においても、地域において自立した生活を営むことができるよう支援するものです。このうち任意事業については、介護保険事業の実施主体である知多北部広域連合で行っています。

### ① 介護予防事業

介護予防事業は、65歳以上の高齢者が要支援、要介護状態にならないよう、基本チェックリストによる対象者の全数把握や、元気アップシニア（二次予防事業の対象者）、元気シニア（一次予防事業の対象者）を対象とする介護予防教室、健康相談等の介護予防事業に取り組んでいます。

#### ア 一次予防事業（元気シニア事業）

##### ▼目的

活動的な高齢者の生活機能の維持、向上に向けて、健康教育や健康相談等を通じて、介護予防に関する活動の普及・啓発や地域における自発的な介護予防活動の育成・支援を行います。

##### ▼目標

活動的な高齢者の生活機能維持のためより充実した事業を展開し、各種健康づくり同好会等の自主活動への支援や元気シニアのニーズをもとに、教室やイベント等を企画・運営し、参加者の増加を図ります。

また、広く介護予防の意義や重要性を健康相談や健康教育、広報等で啓発し、介護予防（生活機能の維持・向上）の周知を進めます。

##### ▼実施状況

・多様化するニーズに合わせ、様々な啓発事業を実施

##### ▼実績

#### (ア) 健康教育

##### ・男性のためのらくらく筋力アップ教室

年度	回数	実人数	延人数	平均年齢
23	週1回10回1コース	42(4)	342	74.1
24	週1回10回1コース	26	222	70.5
25	週1回10回1コース	42(1)	373	72.5

( )二次予防事業の対象者再掲

・女性のためのいきいき体操教室

年度	回数	実人数	延人数	平均年齢
23	週1回10回1コース	39 (1)	323	70.6
24	週1回11回1コース	33 (2)	309	72.2
25	週1回8回1コース	47 (0)	301	61.9

( ) 二次予防事業の対象者再掲

・アクアウォーキング教室

年度	回数	実人数	延人数	平均年齢
23	週1回10回1コース	18 (1)	155	69.9
24	週1回10回1コース	22 (3)	194	70.0
25	週1回10回1コース	17 (2)	143	71.6

( ) 二次予防事業の対象者再掲

・筋力トレーニング教室

年度	回数	実人数	延人数	平均年齢
24	週1回10回1コース	19	161	70.7
25	週1回10回1コース	12	117	70.4

・介護予防健康教育

年度	地区別健康相談		老人クラブ総会		介護予防教室など	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数	実施回数	延人数
23	44	651	2	230	17	454
24	44	637	2	177	18	442
25	42	565	2	72	9	189

・ふれあいサロン協力者研修会

年度	実施回数	延人数
23	2	34
24	2	86
25	2	87

(イ) 健康相談

・ 地区別健康相談

年度	実施回数	延人数	年 齢 区 分		
			40～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
23	83	1,117	34	382	701
24	82	1,117	26	415	676
25	83	1,119	15	441	663

・ 老人クラブ総会健康相談

年度	実施回数	延人数		
		総数	男	女
23	9	382	145	237
24	8	315	132	183
25	7	214	87	127

・ 社会福祉協議会事業での健康相談（あい・カフェ）

年度	実施回数	延人数		
		総 数	男	女
23	18	491	93	398
24	12	284	39	245
25	8	167	29	138

(ウ) 啓発事業

・ 高齢者の健康体操支援事業

年度	実施会場	延人数
23	7	5,381
24	7	5,930
25	7	5,635

・ 出張体力測定（各地区老人クラブ年1回）

年度	実施回数	参加人数	性別		年齢別		測定結果			
			男	女	65～74 歳	75 歳以上	松	竹	梅	その他 ※1
23	6	218	101	117	107	111	121	48	6	39
24	6	232	101	131	109	123				
25	6	193	71	122	97	96	120	40	6	27

※1 測定結果の「その他」は、中止項目があり判定できなかった方



・ 同好会活動

筋力アップ同好会

年度	グループ数	活動者数
23	6	166
24	6	163
25	6	154

・ 優遊健康器具同好会

年度	グループ数	活動者数
23	2	27
24	2	27
25	2	27

(エ) 高齢者いきいきマイレージ事業 (仮称) (新規事業)

▼目的

認知症予防を中心とする介護予防を目的とした、高齢者いきいきマイレージ事業 (仮称) を行うことにより、健康づくりに関する各活動に参加し、自ら健康行動を実践することでポイントを集め、特典を受けることで認知症予防、介護予防に対する意識を高めることを図ります。

▼目標

認知症予備群の減少や要介護認定率の維持又は減少及び健康寿命の延伸などの数値目標の改善を図ります。

イ 二次予防事業 (元気アップシニア事業)

▼目的

生活機能の低下が認められる高齢者を把握し、要介護状態等を予防することで、高齢者が活動的で生きがいのある生活を送ることを目的としています。

また、対象の高齢者の状況に応じた介護予防プログラムを実施することにより、生活機能の改善を図ります。

▼目標

要支援・要介護認定者を除くすべての65歳以上の方が「介護予防のための基本チェックリスト」を行い、一人ひとりが生活する上での生活機能の状態が把握できるよう、基本チェックリストの必要性・重要性の周知と、その活用を図ります。また、介護予防に取り組むことを積極的に啓発し、二次予防事業への参加促進に努めます。

年代やニーズに対応した参加しやすい事業を実施するとともに、内容の充実を図り、対象となる高齢者が目的・目標をもって事業に参加することにより、活動的な高齢者の増加を図ります。

▼実施状況

・平成25年度から認知症予防の推進を目的として、脳トレ教室を開催

▼実績

(ア)介護予防健診（基本チェックリストの実施）

・基本チェックリスト実施状況

特定健診等と同時実施(町内16医療機関(平成23年度までは15医療機関))

※健診対象者以外は基本チェックリストを郵送し、記入したものを返信用封筒で回収

年度	対象者 (人) ※	受診者数 (%)	受診率 (%)	二次予防事業の対象者 (人)	二次予防事業参加	
					参加者数 (人)	参加率 (%)
23	9,906	7,453	75.2	1,806	180	1.82
24	10,780	7,608	70.6	1,763	189	1.75
25	11,301	8,449	74.8	1,809	208	1.84

※ 各年度4月1日現在の高齢者人口

・該当項目別内訳

年度	二次予防事業の対象者 (人)	項目内訳(件)						
		生活機能全般	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	閉じこもり	もの忘れ	うつ傾向
23	1,806		1,035	95	973	279	897	729
24	1,763	342	1,057	98	931	232	872	677
25	1,809	351	1,085	104	954	236	899	675

(イ)二次予防事業（元気アップシニア事業）

・男性だんらんクラブ 25年度よりすまいるくらぶとして実施

年度	期間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	4/5~3/13	24	17(2)	155(18)	76.6
24	4/10~3/19	23	12(0)	144(9)	77.6

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・女性にこにこクラブ 25年度よりすまいるくらぶとして実施

年度	期間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	4/12~3/27	24	25(3)	226(50)	81.2
24	4/10~3/26	24	15(1)	149(8)	80.5

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・すまいるくらぶ 25年度新規教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
25	4/9~3/25	24	14	186	80.9

・運動アップ教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	4/12~3/27	24	51(1)	343(7)	73.5
24	4/13~3/29	30	54	314	74.8
25	4/18~2/21	29	54	443	74.9

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・ゆっくりウォーキング教室 25年度新規教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
25	10/7~12/16	8	14	94	73.7

・おいしく健口教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	5/13~3/23	22	21	101	75.0
24	4/6~3/27	20	20	93	73.4
25	7/3~3/26	18	11(1)	55(5)	73.4

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・お口若返り教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	10/12~12/14	3	14(1)	40(3)	70.8
24	10/17~3/15	6	24	54	74.4
25	10/22~3/20	7	25(1)	64(1)	72.7

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・元気アップ教室（あいち健康プラザ健康づくり教室利用）

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	11/10~1/19	10	17	155	74.2
24	11/8~1/17	9	17	133	74.6
25	11/7~1/16	9	10	82	72.5

・食べて元気教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
23	1/20~3/30	6	3(1)	17(5)	68.7
24	10/24~3/27	3	3(2)	5(3)	73.0

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・脳トレ教室（平成 25 年度新規教室）

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数	平均年齢
25	9/19~3/20	24	19	386	75.0

・ひだまり（生きがい活動支援通所事業）介護予防教室

年度	期 間	実施回数	実人数	延人数
23	4/1~3/22	23	60(8)	220(42)
24	4/4~3/25	25	71(22)	271(92)
25	4/17~3/7	30	48(7)	253(48)

( ) 一次予防事業の対象者再掲

・ふれあいサロン介護予防教室（平成 25 年度新規教室）

年度	会場	実施回数	延人数	年齢区分		元気アップ シニア 実人数
				64 歳 以下	65 歳 以上	
25	3	22	439	0	439	15

・通所による個別指導

※重複あり

	年度	実施回数	実人数	延人数	スタッフ
運動器の機能向上	23	6	2	6	理学療法士 保健師
	24	0	0	0	
	25	6	3	7	
栄養改善	23	9	2	9	管理栄養士 保健師
	24	0	0	0	
	25	0	0	0	
口腔機能の向上	23	4	2	4	歯科衛生士 保健師
	24	2	1	2	
	25	6	2	6	
閉じこもり予防・支援	23	6	1※	6	保健師
	24	0	0	0	
	25	0	0	0	
うつ予防・支援	23	8	2※	8	
	24	0	0	0	
	25	0	0	0	

・訪問による個別指導

	年度	実施回数	実人数	延人数	スタッフ
運動器の機能向上	23	6	2	6	理学療法士 保健師
	24	6	2	6	
	25	5	2	5	
口腔機能の向上	23	1	1	1	歯科衛生士 保健師
	24	2	1	2	
	25	3	1	3	
閉じこもり予防・支援	23	5	4	5	保健師
	24	0	0	0	
	25	0	0	0	
認知症予防・支援	23	4	3	4	
	24	0	0	0	
	25	0	0	0	
うつ予防・支援	23	8	2	8	
	24	6(1)	2(1)	7(1)	
	25	6	3	6	

( ) 一次予防事業の対象者再掲

② 包括的支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、様々な生活上の問題を保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等が相談に応じるとともに、地域住民、行政機関、医療機関、介護サービス事業者、民生委員等と連携して高齢者の地域生活を支援します。

職員体制(平成 26 年 10 月 1 日現在)

(単位:人)

職 種	常 勤	非常勤
保健師、看護師	1	1
社会福祉士	2	1
主任介護支援専門員(介護支援専門員)	3	0
事務職員	1(兼務)	1
計	7	3

## ア 総合相談・支援事業

### ▼目的

高齢者やその家族からの相談を受け、適切なサービスにつなげます。相談の内容によって、サービス、制度に関する情報提供や関係機関への紹介をします。

### ▼目標

介護保険で認定が出ているサービス未利用者の把握及び民生委員等との連携によるひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、問題を抱える高齢者の把握と支援に努めます。

### ▼実施状況

・各地区で開催する民生委員との情報交換会、介護保険で認定が出ているサービス未利用者の把握、二次予防事業対象者の全数把握等により、問題を抱える高齢者の把握と支援

### ▼実績

#### 相談者実人数（各年度末）

区 分	23年度	24年度	25年度
相談者実人数（人）	2,553	2,807	3,272

#### 相談件数（各年度末）

（単位：件）

区 分	23年度	24年度	25年度
利用者・家族・親族等を対象とした相談等	7,689	7,623	7,839
関係者・関係機関等を対象とした相談等	7,521	9,460	9,882
計	15,210	17,083	17,721

※（実態把握、二次予防事業の対象者の把握、継続的な支援を含む）

#### 相談内容別件数（各年度末）

（単位：件）

区 分	23年度	24年度	25年度
① 介護保険制度に関すること	7,502	9,327	8,138
② 福祉サービスに関すること	657	1,058	953
③ 医療・保健サービスに関すること	2,376	4,309	3,132
④ 住宅改修に関すること	584	915	792
⑤ 福祉用具に関すること	547	799	601
⑥ 介護負担や介護方法等に関すること	332	798	249
⑦ 虐待に関すること	480	505	403
⑧ 消費者被害に関すること	35	27	38
⑨ 成年後見制度等に関すること	297	452	301
⑩ 生活支援に関すること	1,194	1,780	1,451
⑪ 実態把握・定期訪問等	—	—	—
⑫ その他	4,691	6,333	5,616
計	18,695	26,303	21,674

対応別件数(各年度末)

(単位：件)

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
他機関紹介	—	—	—
その他	15,851	18,060	18,352
相談支援	7,005	7,509	7,811
情報提供	1,090	774	433
申請代行	218	162	107
連絡調整	7,119	9,564	9,988
その他	419	51	13
計	15,851	18,060	18,352

イ 権利擁護業務

▼目的

認知症の高齢者の保護や虐待の防止・早期発見など、高齢者が「自分らしく尊厳ある生活」を送られるよう取り組んでいます。

▼目標

認知症高齢者の把握、適切なサービス利用により、高齢者の消費者被害や虐待の予防に努めます。成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及を図ります。

▼実施状況

- ・H24、25 にじいろフェスタ（福祉まつり）で認知症理解のゲームや紙芝居による啓発イベントを実施
- ・H24、25 地域の関係機関に高齢者虐待防止の研修を実施

▼実績

虐待ケース（各年度末）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
虐待ケース（人）	46	50	35

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

▼目的

高齢者の心身の状態が変化しても、適切なサービスを継続して利用できるように、地域の医療施設などと連携しています。また、介護支援専門員の支援を行っています。

### ▼目標

介護支援専門員、民生委員、他の相談機関等と連携して、多問題世帯への支援を行います。

高齢者が住み慣れた地域で暮らせるように、地域包括ケアの体制づくりを行っていきます。

### ▼実施状況

・東浦町居宅介護支援事業所連絡協議会、主任介護支援専門員連絡会を通じて、町内の介護支援専門員との連携強化

・民生・児童委員とは毎年、地区別で情報交換会を実施し、高齢者が住み慣れた地域で暮らせるように支援

### ▼実績

#### 支援困難事例等への指導・助言（再掲）

（単位：件）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
① 介護支援専門員等に対する指導・助言	353	269	244
② 同行訪問	34	51	56
③ サービス担当者会議等への同席	12	52	20
計	399	372	320

## エ 介護予防ケアマネジメント業務（二次予防事業）

### ▼目的

二次予防事業の対象者実態把握、介護予防事業の勧奨、利用につなげています。

### ▼目標

二次予防事業の対象者の実態把握を 80 パーセント以上行えるように努めます。保健センターと連携して二次予防事業の対象者に教室への参加を勧め、介護予防を図ります。

### ▼実施状況

・保健センターと連携し、H23 から二次予防事業対象者の全数把握

・H24 からは可能な限り、介護予防健診や基本チェックリスト未実施者の実態を把握。介護予防教室の参加者も徐々に増加

### ▼実績

#### 介護予防ケアマネジメント件数

（単位：件）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
介護予防ケアマネジメント件数/二次予防事業の対象者数	180/1,806	189/1,763	208/1,809



## オ 指定介護予防支援事業

### ▼目的

要支援1・2と認定された方に介護予防サービス（予防給付）が適切に提供されるように調整を行っています。

### ▼目標

利用者の状態に適した介護予防サービス計画を作成し、自立支援につながるように努めます。

要支援者に対する予防サービスの提供が適切にできるよう、居宅介護支援事業所担当者会議等において、介護支援専門員からの相談や、助言を積極的に行っていきます。

### ▼実施状況

・当センターが主催する年3回の「ケアプラン事例検討会」に町内の介護支援専門員に参加いただき、利用者の自立支援を目指したサービス計画作成を促進

・経験の浅い介護支援専門員や、一人で開業している介護支援専門員の支援

### ▼実績

#### 指定介護予防支援件数

（単位：件）

区 分	23年度	24年度	25年度
要支援1・2（介護報酬請求件数）	224	225	266
うち居宅介護支援事業所への委託件数	123	163	199